

「ロータリー雑感」

国際ロータリー第2640地区IM2組

ガバナー補佐 佐古久保 恭一（御坊ロータリークラブ）



御坊ロータリークラブの入会に際して、クラブ情報委員長さんからロータリークラブは、地域間の格差やお国事情により、多少かんがえ方に違いはあるにしても、クラブ会員になる為には、そのクラブ会員全員の選考をパスされた人々で構成された職業奉仕団であると説明を受けました。

若かかった私にとって身の引き締まる思いで厳格な掟の中メンバーに加えて頂きました。例会出席など情報委員会から厳しく会員マニュアルと共に研修プログラムと称する実地訓練、当時クラブ数も少なくメーキャップについては、田辺RCや和歌山市内のRCへ情報委員長同伴の中、体験指導を受けたのを昨日のように思います。

あれから30数年が経ちましたが奉仕の第一歩は、クラブ出席率と思い入会以来100%以上を維持できています。それはケガや病気もかからなかったのが幸となりました。しかし気がつけば例会に出席する病気にかかったのかもしれない。

他のクラブのメンバーとの交流は、姉妹クラブや近隣クラブ、世界親睦活動などで同じ趣味を持った方達と親しく懇親を深めて旧友であるかのように安心出来るのは、ロータリーのメンバーが地域社会で貢献している真面目な職業人の集団であるからと思います。

今まで私が参加した奉仕のプログラムなどは、微々たるものですが今後もロータリーを通じて自己の研鑽と奉仕を实践出来ればと思います。

(RI第2640地区マンスリーレター・2008年1月号より)